

山口大学医学部附属病院



【施設紹介】

山口大学医学部附属病院は、現在、ベッド数 756 床、30 診療科と 24 の診療部を擁し、あらゆる分野の疾患を総合的に診療できる山口県内唯一の特定機能病院です。「高度救命救急センター」も設置されており、自治体と連携したドクターカー運用や、山口県ドクターヘリ、新生児ドクターカーの基地病院として、山口県全域の救急医療体制を担っております。

【理念】

山口大学医学部附属病院の理念として、以下の 4 項目を掲げ、診療を行っています。

『安心・安全で良質な医療を提供する』、『将来を担う医療人を育成する』

『地域医療を支え、発展させる』、『世界に発信する先進的医療を推進する』

これらの理念を基とし、放射線部では、以下の理念を掲げ日々の診療業務に従事しています。

『医療を必要とするすべての人に、安全で有効な放射線医療を提供する』，

『電離放射線、電磁場、超音波のエネルギーの有効活用を通じて、チーム医療に貢献する』

『電離放射線の安全利用を推進し、医療被ばくの低減に努める』

『専門分野の研究活動を通じて、新しい放射線医療の構築と発展を図る』

【組織・体制】

医師 2 名、診療放射線技師 44 名、事務補佐員 7 名で構成されており、『CT』、『MRI』、『血管造影・透視』、『一般 X 線撮影』、『核医学』、『放射線治療』の部門に分かれて業務に励んでいます。各部門には、5～10 名程度の診療放射線技師が従事しています。当院の特徴として、入職から 3 年目までは各部署のローテーション勤務となるため、幅広い知識を身に付けることが出来ます。その後、各部署への配属により、専門的な知識を身に付けることが可能です。また、専門資格を持った職員が多く、資格取得に対する補助もあります。

【学会・研修・勉強会】

当院では、学会や研修に参加に対して様々な補助を行っています。初めての学会発表時には、経験豊富な職員による補助を行うことにより、安心して本番に臨むことが出来ます。

また、院内でも定期的に勉強会を実施しており、基礎知識の習得から最新技術の情報収集などが可能です。

【各部署の特徴】

【CT】

最新の2管球CT装置(SOMATOM Force)や高精細CT装置など4台のCT装置を導入しており、心大血管の検査から全身に検査を実施しています。2管球CT装置では、Dual Energy CT画像を取得することにより、ヨードマップや仮想単色X線画像など付加情報を提供しています。



【MRI】

3TのMRI装置や術中MRI装置など5台のMRI装置を導入しており、高画質な画像を提供しています。術中MRI装置では、術中の頭部MRI検査を主に行っています。その他にも、エラストグラフィーの撮像が可能で、臓器の硬さを評価することが出来ます。



【血管造影・透視】

血管造影では、ハイブリットオペ室を含む7台の装置が稼働しています。ハイブリットオペ室は2台の装置が稼働しており、TAVI、ステントグラフト内挿術、脳動脈瘤塞栓術や整形領域の手術が透視下で行われています。透視装置は4台の装置が稼働しており、内科、外科、整形外科、泌尿器科、婦人科、小児科など様々な診療科の検査に対応しています。



【一般撮影】

撮影室が8室あり、整形外科領域の撮影を主に行っています。その他にも内科や歯科の撮影、骨密度の検査を行っています。近年導入された FPD では、胸部の動態検査も実施可能で、呼吸機能の評価や肺血流の評価を行うことも可能となっています。



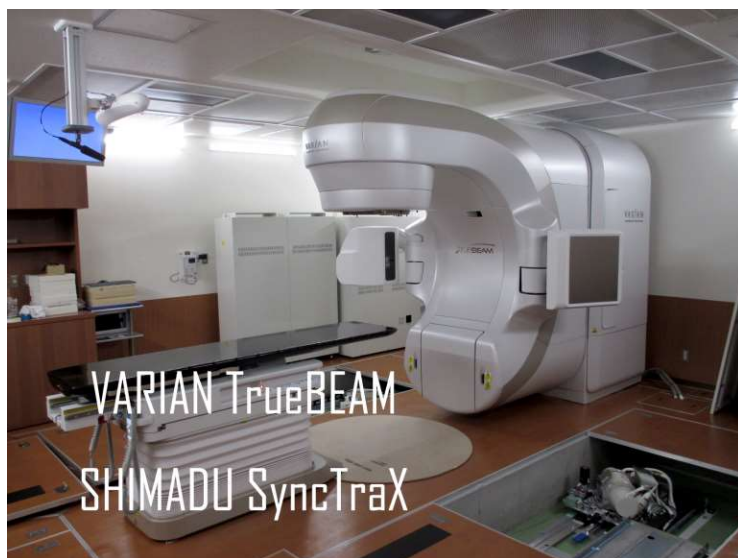
【核医学】

SPECT-CT 装置や3検出器の装置が稼働しており、全身の核医学検査や負荷検査などを実施しています。SPECT-CT では、SPECT と CT 画像を同時に取得することで、病変の検出精度を向上させることが可能となっています。現在 PET-CT の導入計画が進んでおり、2023 年に最新の PET-CT 装置が導入予定です。



【放射線治療】

外照射を行う放射線治療装置が 3 台、腔内照射を行うリモートアフターローディング装置が 1 台稼働しています。放射線治療では、強度変調放射線治療や金マーカーを用いた体幹部定位放射線治療が盛んに実施しています。また、 ^{192}Ir を使用した腔内照射にも対応しています。



【病院・放射線部の詳細】

山口大学医学部附属病院 HP : <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/>

山口大学医学部附属病院放射線部 HP : <http://radtec2.med.yamaguchi-u.ac.jp/>

見学希望の場合は、山口大学医学部総務課総務係(0836-22-2111)までお願いします。

各モダリティの特色

CT

- 最新の2管球CTを導入
- 心大血管から全身のスキャンが短時間で可能
- Dual Energy CT検査で診断に貢献

MRI

- 3T(テスラ)MRIで高画質画像を提供
- 術中MRIにも対応
- MR-Elastographyで臓器の硬さを画像化

血管造影・透視

- 血管系、非血管系に対するIVRを実施
- ハイブリットオペ室で急患の対応
- 透視装置で断層撮影(トモシンセシス)が可能

核医学

- SPECT/CTで診断に貢献
- FDG-PET検査装置も導入
- 脳血管、肺血管、心筋の血流、機能解析に活用

撮影

- CR、FPDを使用したデジタル画像の提供
- 整形領域から動態撮影まで幅広い領域をカバー
- 乳房の断層撮影(トモシンセシス)が可能

放射線治療

- 高精度放射線治療(IMRTやSBRT)の実施
- 呼吸性移動対策機器、IGRT機器の充実
- ^{192}Ir による腔内照射の実施



特色

- 最新機器が導入
- 様々なモダリティを経験可能
- 専門資格(専門技師など)の取得
- 学会発表や論文執筆ができる
- チーム医療の実践
- 地域医療に貢献

放射線部HP

<http://radtec2.med.yamaguchi-u.ac.jp>

病院HP

<http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp>

見学希望の場合は総務課総務係

0836-22-2111まで

基本情報

モダリティ

CT、MRI、血管造影・透視、
核医学、撮影、放射線治療

技師数 44名

業務時間 8:15~17:00

休日 土、日、祝日、
マイホリデー5日間

